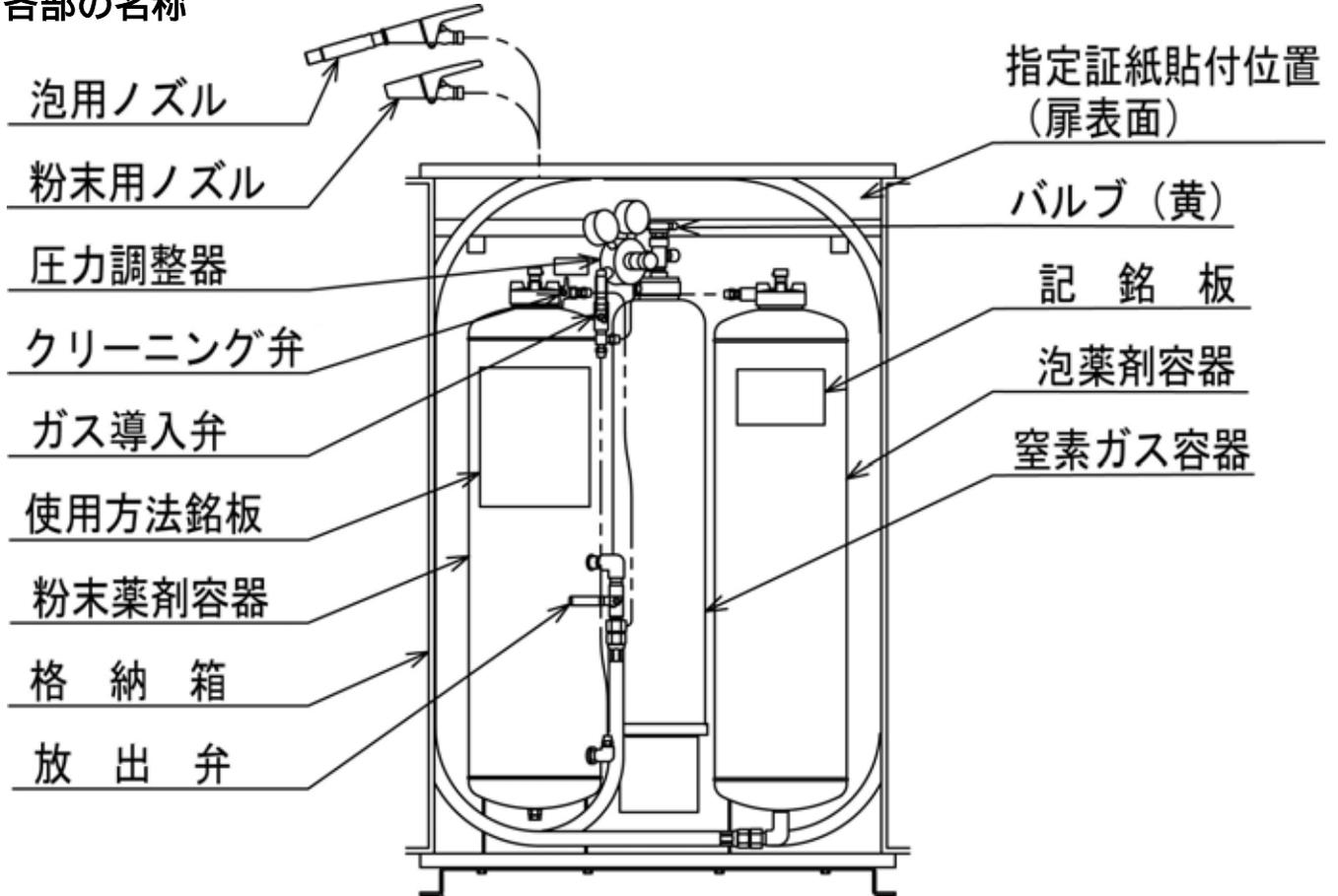


# 取扱説明書

## 1. 各部の名称



## 2. 使用時の操作手順 (格納箱の扉を開け下記操作を行う)

窒素ガス容器のバルブ (黄) を全開にする



放出弁を全開にする

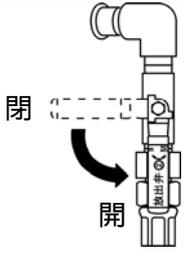
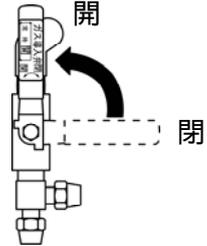
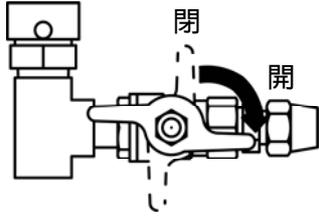


ホースを引きのばす



放出弁を全開にして約 20 秒後に  
ノズルレバーを強くにぎる。

### 3. 弁の種類

| 弁の種類  | 放出弁   | ガス導入弁   | クリーニング弁   |
|-------|---|---|---|
|       |  |  |  |
| 常時    | 閉   | 開   | 閉   |
| 使用時   | 開   | 開   | 閉   |
| 使用后   | 閉   | 開   | 開   |
| 保守点検時 | 閉   | 閉   | 閉   |

### 4. 適応火災

|     | 普通火災<br>(木材、紙等) | 油火災 | 電気火災 |
|-----|-----------------|-----|------|
| 粉末  |                 |     |      |
| 機械泡 |                 |     | x    |

注意：機械泡を電気火災に使用しないでください。

### 5. 設置条件

- 5 - 1 使用温度範囲は - 20 ~ + 40 です。設置場所には十分配慮願います。
- 5 - 2 操作時の転倒防止の為、床にアンカーボルト等を使用して確実に固定してください。

### 6. 使用後の処置

- 6 - 1 粉末側にある放出弁を閉の位置にし、加圧用ボンベバルブ（黄）を右にまわし閉の状態としてください。
- 6 - 2 粉末側にあるクリーニング弁を開け、粉末側・機械泡側それぞれのノズルレバーを強く握ってください。  
ホース内の残留薬剤を放出いたします。（ガス放出音が無くなるまで全量放出してください。）
- 6 - 3 再充填につきましては弊社の販売店または弊社の営業所にお申し付けください。消火設備は速やかに再充填をしてお備えください。

### 7. 保守点検

- 7 - 1 消火設備のガス導入弁は開の位置に、粉末側のクリーニング弁、放出弁は閉の位置にそれぞれ保持されていますか。
- 7 - 2 各部締付けの状態を確認してください。

粉末側・機械泡側それぞれの充填蓋は確実に締められていますか。  
加圧用ガス容器と圧力調整器との接続部は確実に締付けられていますか。  
それぞれのホース接続部ネジのゆるみはありませんか。  
各導管接続部ネジのゆるみはありませんか。  
ゆるみがある場合には、確実に締付けてください。

- 7 - 3 窒素ガス容器の充填圧力を定期的に確認してください。  
圧力が 11.8 MPa（於 20 ）以下になっている場合は再充填をするか、新しいものと交換してください。  
窒素ガス容器の充填圧力の確認作業手順としましては、
  - (1) ガス導入弁を閉の位置（常時は開の位置）にしてください。
  - (2) 窒素ガス容器のバルブ（黄）を開けてください。バルブ（黄）は左まわしで開となります。
  - (3) 圧力調整器の一次側のゲージを見て、圧力を測定してください。
  - (4) 圧力測定後はバルブ（黄）を確実に閉めてください。バルブ（黄）は右まわしで閉となります。
  - (5) 圧力調整器の下にあるリーク弁を押してガス抜きをおこなってください。
  - (6) ガス導入弁を開の位置に戻してください。
- 7 - 4 格納箱の扉、ノズルレバーを動かし、スムーズに動くかを確認してください。